

Serv

Tan

Se

Radio

Fran



More Than Feeling
Piece Of Mind
Tuesday Long Time

Rock & Roll Band
Social
Hitch A Ride
Something Wicked
Let Me Take You Home Tonight

If you're not here for something to do just sit. The band originated from a basement in Newton, Massachusetts. Tom Scholz, the lead guitarist, and his friend, Steve Tyler, formed the band in 1972. They had no money, so they borrowed the instruments from their parents. They played in local bars and clubs, and soon became popular. In 1976, they released their first album, "Don't Look Back".

After their success with "Don't Look Back", they moved to New York City. There, they met other musicians and began playing more gigs. They played with Bruce Springsteen and the E Street Band, and with Lynyrd Skynyrd. They also performed at the Woodstock Music and Art Fair.

Now, what happened next? Listen to the record! If you need more information on why Boston is considered to be a regular classic band, then Scholz, As With Gold, is the best place to start. It's a great book about the band's history, the music, and the people behind it. It's a must-read for anyone who loves Boston.

On the cover of the record, you can see the band members: Steve Tyler, Tom Scholz, Brad Delp, and Don Henley. They are all dressed in casual clothing, like t-shirts and jeans. The background is a dark, smoky room, which adds to the overall atmosphere of the record. The title, "Boston", is written in a bold, sans-serif font, with a red outline. The word "Boston" is the most prominent part of the cover, and it's easy to read. The rest of the text on the cover is smaller and less prominent, but it still provides some information about the band and the record.

After listening to the record, you'll understand why Boston is considered to be a classic band. The music is catchy and fun, and the lyrics are meaningful. The band's sound is unique, and it's hard to forget. If you're a fan of classic rock, then you should definitely check out "Boston". It's a great record that will stay with you for a long time.

Produced by John Sebastian and Tom Scholz.

Recorded at

Reprise Studios, Westwood, Mass.

Mastered by

Geoffrey Stetson, Masterdisk, Calif.

Engineered by

Tom Scholz and Don Henley.

Assisted by

Don Henley, Bruce Hornsby,

Ed King, Roger

Rode,

Mixed at

Westway Audio, Los Angeles, Cal.

Assisted by

Steve Hodge,

Mastered by

Andy Langford at

Capitol Studios,

Directed by

Paul Management

Paul Brown, Charles M. Reiter

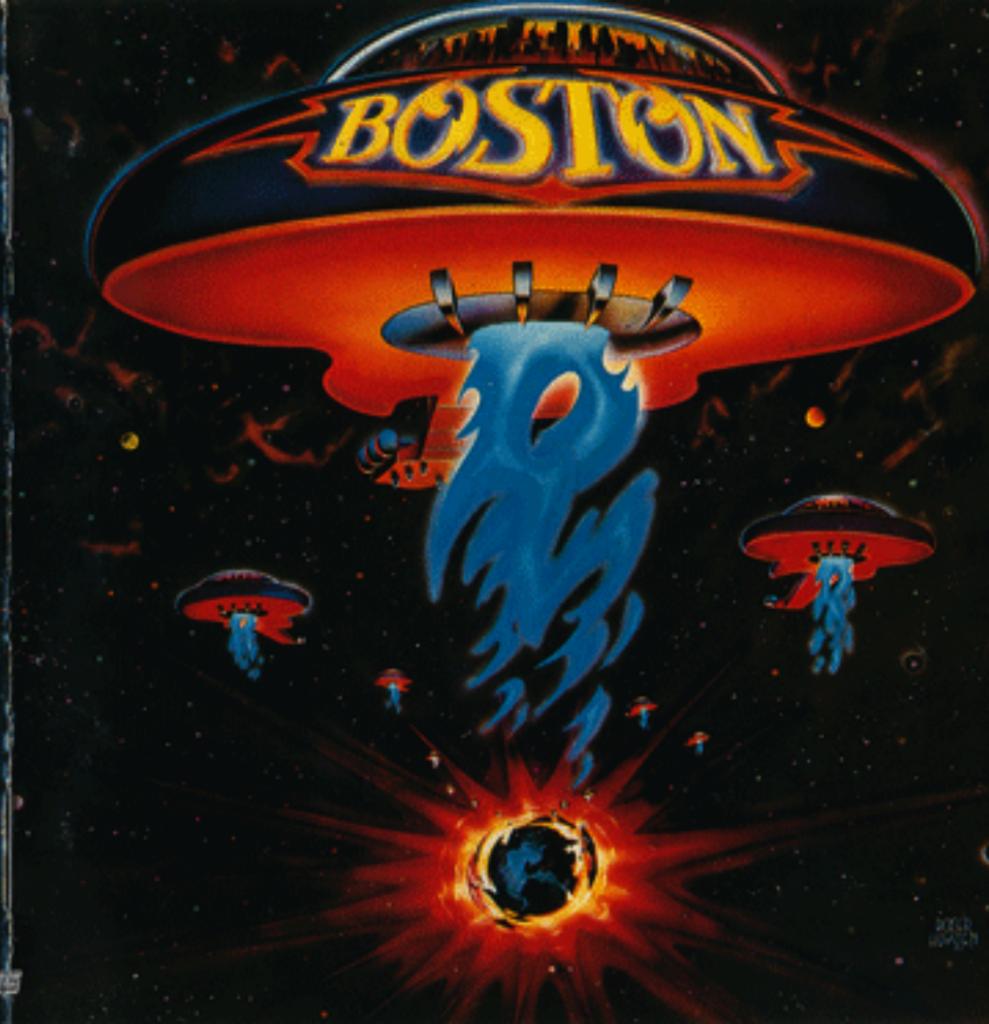
BOSTON

TOM SCHOLZ - Lead & Rhythm guitars,
acoustic guitar, keys, electric guitar,
bass, organ, clavinet & percussion.
BRAD DELP - Lead & Harmony vocals, acoustic
electric guitar, rhythm guitars.
A per person
DON HENLEY - Lead & rhythm guitars
ED KING - Drums
ROGER HORNSBY - Drums, drums, drums

Cover illustration by Roger Horrigan
Design Paula Scher
Special thanks to Paul, Steve, Lorrie,
John and Sam
Extra special thanks to Brian Rabin
and Linda

32-BP-192 STEREO

© 1982 CBS Inc. Manufactured by CBS Sony Inc. This record is 12 1/2" x 12 1/2" inc. © 1982 CBS Inc. All rights reserved. Unauthorized duplication of this record is illegal.



幻想飛行

BOSTON

ボストン

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 宇宙の彼方へ | (4:45) |
| MORE THAN A FEELING | |
| 2. ピース・オブ・マインド | (5:02) |
| PEACE OF MIND | |
| 3. フォープレイ/ロング・タイム | (7:47) |
| FOREPLAY/LONG TIME | |
| 4. ロックン・ロール・バンド | (3:00) |
| ROCK & ROLL BAND | |
| 5. スモーキン | (4:21) |
| SMOKIN' | |
| 6. ヒッチ・アイ・ライド | (4:12) |
| HITCH A RIDE | |
| 7. サムシング・アバウト・ユー | (3:48) |
| SOMETHING ABOUT YOU | |
| 8. レット・ミー・テイク・ユー・ホーム・トゥナイト | (4:44) |
| LET ME TAKE YOU HOME TONIGHT | |

プロデュース／ジョン・ボイラン、トム・ショルツ

トム・ショルツ／リード&リズムギター、アコースティックギター、スペシャル・エフェクト・ギター、ベース、
オルガン・クラヴィネット・バーカッション

ブランドン・デルブ／リード&ハーモニー・ヴォーカル、アコースティック12弦ギター、リズム・ギター
パリー・ゴウドリュー／リード&リズム・ギター

フラン・シーハン／ベース

シヅ・ハッシュアン／ドラムス & バーカッション

「ボストン」イースト・コーストが生んだ実力派大型グループとして注目を浴びるにちがいない。

こんなことを書くとパンク派やアコースティック派の情念型のファンに叱られそうだが、僕はロックに関してはレコードとライブ・パフォーマンスは別だと考えた方が良いと思っている。

プログレッシブ・ロックを超えてきた後のロックのレコードではレコードというメディア自体が一つの作品的価値を持ってきているのは厳然とした事実である。これにはどんなオーディオ・システムで聞くかということが大きく関係してくるのだが、こういったことを意識したレコードを聞くためにはそのレコードの持つ音のニュアンスをできるだけ忠実に伝えてくれるシステムを持っていることが最低条件である。オーディオに金をかけるぐらいだったらコンサートに何度も行った方がいい、と考えるむきもあるだろうが、良質のレコードと良質の再生装置の組み合わせは考えられないほど素晴らしい音の世界を現出する。僕にとって、うるさいばかりのコンサートよりは、ちゃんとしたステレオで良いレコードを聞く方が格段と面白い。まあ、楽しみ方の違いもあるし、ここまでいくと病

気だといわれる事もあるけれど、たとえばクイーンはレコードの方が数十倍面白いし、音に意識的であろうとするバンドの中にはライブを全然やってないグループもある。

こういったロックの一つの動きにからんで、レコーディング・システムを自ら操り、音の感触をプロデュースしようとするロック・アーティストがどんどん増えている。トッド・ラングレンやマイク・オールドフィールドなどはその先駆的存在であるといってよいだろう。僕はかねてからロック・アーティストの経歴が美術関係（たとえばジョン・レノンやジミー・ペイジ）からエンジニアリング関係（マイク・オールドフィールドやジョン・ディーコンなど）に移っていくだろうという予想をしていたのだが、ここにまた一人、実例が加わることになった訳である。

ボストンのバンド・リーダーであり、プロデュース、エンジニアリングも担当しているトム・ショルツはアメリカの理系の優秀な頭脳が集まるというマサチューセッツ工科大学の卒業生で、

この年もまた、音楽界に大きな変動が起る。エレクトリック・ザ・フーが「ザ・ビートルズ」を破壊する。エリック・クラプトンが「ザ・クリスチーナーズ」を破壊する。エリック・クラプトンが「ザ・クリスチーナーズ」を破壊する。

かつてMTVにあこがれを抱いていた僕としては裏ジャケのライナーにこの三文字を見つけただけでこのレコードが気になってしょーがなかった。人のコンプレックスをついたライナーというのは實に恐ろしいものだ。気をつけようっと。

さて、ミュージシャンとしてだけではなく、プロデューサー、オーディオ・エンジニアとしての手腕を持ったプログレッシブなロック・アーティストが増えてくる事が、良質のロック・レコードを生み出すために非常に好ましい状況であると思っている僕としては、当然このボストンにも期待しないではいられない。

ボストンという名前が象徴するように彼らのサウンドは、東海岸の都市近郊の音が基本となり、完成度の高い新しいタイプのアメリカン・ミュージックになっている。彼らの音楽は今までごく平均的な都市近郊に住むアメリカの若者が日常的に聞いていたロック・ミュージック——プログレッシブからハード、ポップ、それにエスト・コースト系の軽いさわやかなサウン

ド、それら全ての音楽を再集約したものであり、これこそが貪欲に音楽を吸収し、健康的に消化してしまった上で出てくる新しいアメリカン・ミュージックと言えるのではないだろうか。プログレッシブと呼ばれたロックの中にあったスペイシーな音の感覚、バブル型のハード・ロックにあったスピーディーな展開、ドゥービー風のノリ、ラズベリーズを思わせるハーモニーなど、それらが確実なテクニックに裏付けられ、調和を保ちながら、より密度の高い音楽を生みだしている。

今までにドゥービー・ブラザースが「エスト・コースト」に新しい感覚を持ちこんだ先進的グループとして評価されていたが、このボストンは西のドゥービーに優るとも劣らない実力ソリッド（イースト）な内容とその斬新な感覚で、イースト・コーストが生んだ実力派大型グループとして注目を浴びるにちがいない。

’76.9.29 いまいづみ★ひろし

彼らのサウンドはアメリカン・ロックの未来像を明らかにするもののひとつである。

ボストン、といえばアメリカ東部、ニューイングランド地方最大の都會であり、マサチューセッツ州の州都として知られているところである。そういえば今から7、8年あまり前のこと、ボストンはサンフランシスコに続く新しいロックのメッカになるだろうとして華々しい脚光を浴び、同時にボストン出身のグループ、たとえばアース・オペラ、ビーコン・ストリート・ユニオン、アルティメイト、スピナッチャなどが紹介されたことがある。もっともそれはサンフランシスコのロック・グループの成功に目をつけたいくつかのレコード会社がもくろんでのことであり、さらにボストンがサンフランシスコほどのグループ層を持っていなかったことなどもあって、やがてこれといった噂も聞かれなくなってしまった。それでもボストンのロック・シーンやグループの存在が知られはじめたのはそんなことがあってから、そして、70年代に入るとともに、J・ガイルス・バンド、ジェイムス・モンゴメリー・バンド、さらにはエアロスマミスらの出現によって、またもやボストンのロ

ック・シーンが注目されるようになったのである――

そして今、ここにまた新しいボストン出身のグループ、それも出身地の名をそのままグループ名としたボストンが、デビューを飾ることになった。――

残念なことに詳しいバイオグラフィーなどが送られてきていなかったため、彼らの経歴、グループ結成のいきさつを紹介することができない。が、アルバムのライナー・ノーツでわずかにふれられているところによれば、そもそもその話はマサチューセッツ工科大学出身で、ボラロイド社のプロダクト・デザイン・チームの一員として働いていたこともあり、ローカル・バンドの一員として活動していたトム・ショルツが12トラックのレコーダーを手に入れ、さまざまな試みを重ねるうち、制作したホームメイド・テープがレコード会社などで評判を呼び、それをきっかけとしてトムはグループ結成を思い立ちボストンで名の知れたミュージシャンを集めて、スタートさせた、ということらしい。――

それはともかく、ボストン出身のニュー・グループであるということだけでも彼らには充分魅きつけられるところがあったのだが、加えてこのアルバムのプロデュースを手がけたのがジョン・ボイランであったことが、彼ら、さらにはこのアルバムに対する興味、関心を一層高めることになったのである。――

ジョン・ボイラン、といえば、これまでにリック・ネルソン、リンダ・ロンシュタット、ブルーワー＆シップリー、さらに最近ではブュア・ブレイバー、リーグなどを手がけてきている名うでのプロデューサーであり、イーグルス結成にもひと役買ってきたなど、ロスアンジェルスのロック・シーンに関心を持つ人々の間ではその名はよく知られているV.I.P.のひとりである。そして、先にあげてきたアーティストからも察せられるように、彼はこれまで主にフォーク・カントリー・ロック系のソロ・アーティスト、グループを手がけ、それもしやられた都会的な洗練されたポップ・センスと土くさい素朴な田舎っぽさが不思議に同居した、まさしくロ

スアンジェルス・ポップスを感じさせる独特のサウンド作りを得意としている。といえば、僕が彼らに期待したものについて、おおよその察しがつかれるのに違いない。――

はたせるかな彼らは、僕が予想していたサウンドを持ってはいたのだが、それだけにとどまるものではなかった。それも、ある意味では予想もしなかったサウンドの登場に少なからず驚かされ、同時に、またしても彼らに対する興味がつのりはじめたのである。――

ではここでアルバムに収められている作品の内容について簡単にふれておくことにしよう。

アルバムのオープニング「宇宙の彼方へ」は、アコースティカルなサウンドとエレクトロニクス的なものが見事な一致を見せたポップ・バラード的なものがあるナンバー。シャープな切れ味がそう快である。続く「Peace of Mind」も同様のサウンドとスタイルを持つロックン・ロール。前曲などもそうだが、ヴォーカル、コーラス、バックのサウンドなど、たとえばラズベリ

彼らのサウンドはアメリカン・ロックの未来像を明らかにするものの

ーズ、ボコ、イーグルスなどをほうふとさせていて、メロディアスな作品、リズム感、サウンドのさわやかさ、ストレートなところは、アメリカン・ポップス的なものを強く感じさせている。さらに、のびのあるギター・サウンドが魅力となっているのだ。――

続くメドレー2曲のうち、前半の「Foreplay」は、これまでの作品とはうって変わって、プログレッシブ的というか、エレクトロニクスを駆使してのインプロヴィゼイションが展開されている。続く「Long Time」は、先の1、2曲目と同様に、ポップ的サウンドを持つがそこに、プログレ的要素もふんだんに見い出せるのがおもしろい。――

「Rock & Roll Band」は、文字通り、ストレートなロックン・ロール。ここでもポップ的要素は窺える。そして「Smokin」はハードなブギで、ファジーなギターもさることながらさまざまな色あいを見せるオルガンのフィーチャー・プレイが聴きものだ。――

続く「Hitch a Ride」、「Something About You」

は、いずれもポップな味わいのあるメロディ・ラインを持ち、ヴォーカルやコーラスもいきいきとしたさわやかなもの。さらにいずれも奥行き深いサウンドを持っているのがおもしろいところである。そしてラストをしめくくるのは、叙情的な味わいもあるメロディアスなポップ・ナンバー「Let Me Take You Home Tonight」。ラスト近くにはリズミカルな盛りあがりを見せている。――

ボストンのサウンドで最も魅力的なものとしては、ひとつひとつの作品がメロディアスなポップ感覚にあふれているのをはじめとして、さわやかなヴォーカル、コーラス、さらにシャープな切れ味の新鮮なバックのサウンドなどがあげられよう。そうしたところは、先にもふれたようにたとえば、ボコ、イーグルス、グリン、ラズベリーズといったポップ・ロック・グループのサウンドをほうふとさせるところがある。が、彼らはそれらの歪曲的なものにとどまらず、そこに新しい要素を織り込んで独自のスタイルを作り出しているのだ。その新しい要

FOREPLAY LONG TIME TO EASY PLACE OF MUSICALITY

素とは、いうまでもなくエレクトロニクスを駆使しての奥行き深いサウンド作りであり、それもプログレッシブ・ロック的な作品といえる、「Foreplay」がまさに物語っているように、ひとつの枠にとどまらぬ、新しい音楽性をも生み出しているのは、まさに70年代のグループらしい、新しさを随所に見い出せる。そして、彼らのサウンドはアメリカン・ロックの未来像を明らかにするもののひとつである。といっても、決してオーヴァーではないような気がするのだが。ともあれ、今後の活躍に期待したいニュー・グループであることには違いない。

(解説：小倉エージ)

解説は、アルバム発売当時の解説文を転用しました。

MORE THAN A FEELING

I looked up this morning and the sun was gone
Turned on some music to start my day
Lost myself in a familiar song
I closed my eyes and I slipped away

It's more than a feeling
More than a feeling
And hearing that song is
More than a feeling
And I begin dreaming
More than a feeling
Just think your love, walked away
I see that Mary Ann walkin' away

So many people have come and gone
Their faces fade as the years go by
Yet I still recall as I wander on
As clear as a sound in the summer sky

It's more than a feeling
More than a feeling
And hearing that song is
More than a feeling
And I begin dreaming
More than a feeling
Just think your love, walked away
I see that Mary Ann walkin' away

When I'm tired of thinking cold
I hide in my music, forget the day
And dream of a girl I used to know
I closed my eyes and she slipped away,
...she slipped away...

It's more than a feeling
More than a feeling
And hearing that song is
More than a feeling
And I begin dreaming
More than a feeling
Just think your love, walked away

PEACE OF MIND

Now if you're feelin' kind of low about the
dues you been payin'
Things is comin' too slow
And you wanna runnin' someone you just
keep on stayin'
Can't decide which way to go

I understand about indecision
But I don't care if I get behind
People livin' in competition
All I want is to have my peace of mind

Now you're climbin' to the top of the
company ladder
Hope it doesn't take too long
Can't you see there'll come a day when it
won't matter
Come the day when you'll be gone

I understand about indecision
But I don't care if I get behind
People livin' in competition
All I want is to have my peace of mind

Take a look ahead
Take a look ahead
Yeah, yeah, yeah, yeah

Now everybody's got advice they just keep on
givin'
Doesn't mean too much to me
Lots of people have to make a living livin'
Can't decide who they should be

I understand about indecision
But I don't care if I get behind
People livin' in competition
All I want is to have my peace of mind

Take a look ahead
Take a look ahead
Look ahead...

FOREPLAY/LONG TIME

It's been such a long time
I think I should be going yeah
Time doesn't wait for me, it keeps on holding
Sail on, on a distant highway
I've got to keep on chasin' a dream
I've got to do it my way
Instead of somethin' I can say

Well I'm takin' my time
I'm just movin' on
You'll forget about me after I've been gone
I'll take what I find
I don't want no more
It's just outside of your front door
It's been such a long time
It's been such a long time

I get so lonely
When I am without you
But in my mind, deep in my mind
I can't forget about you
Good times this is every day yeah
Tryin' to forget your name
And leave it all behind me
You couldn't get to follow me

Well I'm takin' my time
I'm just movin' on
You'll forget about me after I've been gone
I'll take what I find
I don't want no more
It's just outside of your front door
It's been such a long time
It's been such a long time

It's been such a long time
I think I should be going yeah
Time doesn't wait for me, it keeps on holding
Along goes, go to stay in time with
I've got to keep on chasin' a dream
Though I may never find it
The one who speaks without it

* Well I'm takin' my time
* I'm just movin' on
* repeat x 7

ROCK & ROLL BAND

Well we were just another band out of Boston
On the road and trying to make ends meet
Well, all the bars we been in
'Cause we brought the sun out in the street
Though we didn't have much money
We barely made enough to survive
But when we got up on stage, and got ready
to play
People came for miles

Rock 'n roll band
Everybody's waiting
Gettin' crazy anticipatin'
Love and music
Play, play, play, yeah, yeah, yeah, yeah

Dancing in the streets of Hyannis
We were getting pretty good at the game,
People stood in line and didn't see the lines
You know, everybody knew our name
Livin' on rock 'n roll music
Never worried about the things we were missin'
When we got up on stage and got ready to play
Everybody's listen

Rock'n roll band
Everybody's waiting
Getting' crazy anticipatin'
Love and music
Play, play, play

Playin' for a regular outing
A man came to the stage one night
He smoked a big cigar and drove a Cadillac car
Said "Boys, I think this band is outasight"
Signed a record company contract
You know we've got great expectations
Well I hear on authority you're gonna be
a sensation

Rock 'n roll band
Everybody's waiting
Gettin' crazy anticipatin'
Love and music
Play, play, play, yeah, yeah

SMOKIN'

Gonna play you a song
A little bit of rock 'n' roll
Gotta let yourself go
The band's gonna take control yeah
If not today
We'll pick you up and take you away
Get down, tonight

Smokin', smokin'
Lookin' for night, just keep on chokin'
Smokin', smokin'
Feel all right Mama I'm not jokin'

Get your feet on the floor
Everybody rock 'n' roll
Got nothin' to lose
Just rhythm and blues, that's all
Feel OK
I'm gonna pick you up and take you away
Get down, tonight

Smokin', smokin'
Lookin' for night, just keep on chokin'
Smokin', smokin'
Feel all right Mama I'm not jokin'

Everybody's jumpin'
Dancin' to a boogy tonight
Clap your hands, tap your feet
Don't you know it
If not today
Pick you up and take you away
Get down, tonight
If not today
Pick you up and take you away
Get down, tonight
Well all right

HITCH A RIDE

Day is night in New York city
Smoke like water runs inside
Still every tree took pity
Every livin' thing that's died

*Gonna hitch a ride
Head for the other side
Leave it all behind
Never change my mind
Gonna sail away
Sun writes another day
Freedom for my mind
Carry me away for the last time*

Life is a like the coldest winter
People freeze the tears I cry
Words of hell our minds are into
Got to crack this ice and fly

* * repeat x2

SOMETHING ABOUT YOU

When I was younger
Thought I could stand on my own
It wasn't easy
Stood like a man made of stone
But there was something about you
Brought a change over me
And it started to show
Got this feelin' inside
Got to have you, have you and I'm gonna have
you
It isn't easy to show
What I'm feelin' inside me
It isn't easy I know
Would you believe in a man like me

When I get angry
I say things I don't want to say
I really mean it
I don't want to treat you this way
I couln't help my reaction
I lose control over you
I don't want you to go
Got this feelin' inside

Got to have you, have you and I'm gonna have
you
It isn't easy to show
What I'm feelin' inside me
It isn't easy I know
Would you believe in a man like me

But there was something about you
Brought a change over me
Got this feelin' inside
Got to have you, have you and I'm gonna have
you
It isn't easy to show
What I'm feelin' inside me
It isn't easy I know
Would you believe in a man like me
Help me, can't you see
I got to got to have you
Well there was something about you
Well there was something about you

LET ME TAKE YOU HOME TONIGHT

Now I'm not like this, I'm really kind of shy
But I get this feelin' whenever you are by
I don't want to down you, want to me you
high
If you could see a way to me, come out let
me try

Let me take you home tonight
Mama now it's all right
Let me take you home tonight
I'll show you sweet delight

You must understand this, I've watched you
for so long
That I feel I've known you, I know it can't be
wrong
If we just get together, I want to make you see
I'm dreamin' of your sweet love tonight, so
mama let it be

Let me take you home tonight
Mama now it's all right
Let me take you home tonight
I'll show you sweet delight

I don't want to make excuses, I don't want
to lie
I just got to get loose with you tonight
I don't want to down you, want to make you
high
And I get this feelin' whenever you are by
If we just get together, I want to make you see
I'm dreamin' of your sweet love tonight, so
mama let it be

Let me take you home tonight
Mama now it's all right
Let me take you home tonight
I'll show you sweet delight

I want to show you sweet delight
Show you sweet delight
Pretty mama I'll show you sweet delight
Let me take you home tonight
You know I wanna take you home
Let me take you home tonight
Well I want to be alone
Let me take you home tonight
Just want to take you home
Let me take you home tonight
Wanna take you home tonight
* Let me take you home tonight

* repeat x2

コンパクト・ディスクの優れた特徴

〈音が、すばらしく良い〉

コンパクト・ディスクは、最新のコンピュータ技術を使った「デジタル」方式。従来のレコード（アナログ方式）では考えられなかったほど、良い音が得られます。

- ビアニシモからフルティシモまでを、臨場感豊かに再現します。コンパクト・ディスクのダイナミック・レンジ（最弱音と最强音の差）は、90dB以上。この数字の迫力は、コンサート・ホールで聴くオーケストラの演奏が約100dBと言えば、納得していただけます。

- 人間の耳に聞こえる範囲以上の超低音から超高音までを自然な音質で再現します。

- 音の歪み率は、従来のレコードの10分の1以下。また、回転ムラによる音の搖れや震えはほとんど無く、とてもピュアで澄んだ音を再現します。

- コンパクト・ディスクは、雑音を徹底的に排除。（SN比は90dB以上）針が音溝をトレースする雑音も無いので、休止部はかぎりなく無音にちかづきました。

〈いつまでも変わらない、いい音〉

コンパクト・ディスクは、レーザー光線で音を取りだす非接触ピックアップ。針を使わないので、音漏がすり減るようなことがありません。また、信号が刻まれた面はプラスティックの膜で覆ってあり、直接触ることができます。だから、汚れにも強く、いい音がいつまでも変わりません。

〈ポケットにも入る、コンパクト・サイズ〉

コンパクト・ディスクは、シングル盤より小さく、カセット・テープより薄い。持ち運びが簡単で、収納スペースがぐんと少なくてすみます。

〈扱いカンタン〉

プレーヤーへのセットは、片手でポン。演奏のスタート、ストップ、選曲、頭出し、繰返し演奏などの操作は、ボタン1つですぐOK。デジタルならではの簡単操作ですから、どなたにも気楽に使っていただけます。

取扱上のご注意

- ①レーベルの反対側の光った面にレーザー光線をあて信号を読みとりますから、この面を汚したり傷つけたりしないようご注意ください。
- ②汚れがついたときは、柔かい布で軽く拭きとってください。従来のレコード用スプレークリーナーは、使わないでください。
- ③ディスクを拭く場合は、円の中心または外側に向かって布を動かします。円周の方向には拭かない方が安全です。
- ④レーベル面に鉛筆、ボールペンなどで文字や記号を書きこまないでください。
- ⑤このコンパクト・ディスクのケースは、70℃以上になると変形するおそれがあります。直射日光の当る所、暖房器具の近くなど、高温の所は保管しないで下さい。特に、車のリヤトレイなどへの放置はご注意下さい。また、温氣の多い所も避けて下さい。

SWITCH A RIDE
SOMETHING ABSOLUTELY
STUPID
SOMETHING ABSOLUTELY
STUPID

Ex. Images